（別紙4（2））

目標達成計画

事業所名 ：グループホームはっぴーらいふ
作成日　：　平成25年3月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域に出向いていける行事を計画、実施しているが、近隣住民の方と利用者の交流が十分にできているとはいえない	隣保班の方が気軽に行き来できる関係が作れ、地域とつながりを持って暮らせる	①1回/2ヶ月、ホームでのお茶会を担当制にて企画し、チラシを隣保班に配布して参加を呼び掛ける ②1回/週以上は、近隣を散歩したり、近隣のスーパー等へ利用者と一緒に買い物に出掛ける	12ヶ月
2	35	災害時（特に夜間）は、近隣の方のご協力が不可欠であるが、ご協力を得ての訓練ができていない	災害時は、近隣の方との連携が図れ、避難誘導がスムーズにできて、利用者の安全が確保できるようにしておく	①ホームや敷地内の避難経路図を外部の方でもすぐわかる位置に掲示する ②避難訓練の予定日を隣保班や家族にお知らせし、ご協力をお願いする	12ヶ月
3	10	運営推進会議に出席できない家族もあり、ご家族の率直な意見や要望を気軽に表出できる機会が少ない	ご家族同士の交流の場を作り、真のご意見や要望などをお聴きし、運営に反映させることができる	①ご家族参加の行事開催時に、ご家族と談話する時間を設け、思いを自由に話していただく ②1回/年、ご家族が職員と気軽に雑談していただけるような食事会の場を設ける	12ヶ月
4	34	応急手当や初期対応の訓練が1回/年では不十分である	急変時や事故発生時には全員が慌てず、的確な対応ができるようにする	①利用者個々の疾患について、看護師による勉強会を行い、職員の知識を高め、病状について把握しておく ②外部研修への参加や伝達講習・定期的な応急手当の勉強会を行い、全職員が的確に迅速な対応ができるようにする	12ヶ月
5	33	重度化した場合や終末期のあり方について、事業所でできる事が不明確で、不安がある	職員に資質を高めることで、重度化に対する不安がないようにしていく	①外部研修や看護師などの専門職による研修を受講し、重度化した場合の対応方法についての知識を身につける ②ミーティング時に事業所で対応出来る事について検討する	12ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。